

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
13052	自然環境論	各2単位 前・後期	1~4	講義	藤田 喜久

■テーマ 沖縄の自然環境と人々の暮らし

■授業の概要

本講義では、沖縄の様々な自然環境とそこに暮らす生物を取り上げ、環境と生物との関わり、それらと人間生活との関わりについて概説する。また、沖縄の自然環境および生物が、沖縄の伝統文化や芸術を育む土台となってきた事例を紹介する。さらに、地球規模または地域（沖縄）規模で生じている環境問題や、自然環境保全の為に必要な様々な試み（法律・条約、調査研究、教育啓発活動、市民活動など）についても紹介し、持続的な利用のあり方について考える場を提供したい。

■到達目標

- ・沖縄の自然環境および生物に関する基礎的な知識を習得する。
- ・沖縄の自然環境および生物の特性と、沖縄の伝統文化との密接な関わりを理解する。
- ・沖縄の自然環境および生物の現状を理解し、活用・保全していくための手段について自らの考えを持つ。

■授業計画・方法（前期・後期共通）

パソコンによるプレゼンテーションを主とし、視覚資料（DVD等）を利用して講義を進める。

1. 講義ガイダンス：沖縄の自然環境の特徴
2. 陸水環境と生物①：河川
3. 陸水環境と生物②：地下水・湧水環境
4. 干潟環境と生物①：干潟環境
5. 干潟環境と生物②：マングローブ環境
6. サンゴ礁と生物①：サンゴとサンゴ礁とサンゴ礁生態系
7. サンゴ礁と生物②：サンゴの生物学
8. サンゴ礁と生物③：サンゴ礁潮間帯の様々な環境と生物
9. サンゴ礁と生物④：サンゴ礁潮下帯の様々な生物
10. サンゴ礁と生物⑤：サンゴ礁生態系の価値と保全
11. 沖縄の自然環境の危機①：沖縄の自然環境の重要性とその現状
12. 沖縄の自然環境の危機②：外来生物と採集・捕獲圧の問題
13. 沖縄の自然環境の危機③：海洋漂流物・海岸漂着物問題
14. 沖縄の自然環境と伝統文化・芸術との関わり
15. 野外散策のススメ / 沖縄の危険生物 / まとめ（定期試験は実施しない）

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・毎回の講義では、講義内容を要約したプリントを配布する。授業時間外の宿題として、ごく簡単なレポート課題を不定期に与えることもあるので、毎回の講義を欠席しないようにすること。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（45%）、不定期課題（30%）、期末レポート（25%）の内容で総合的に判断する。「平常点」は、授業への参加状況と毎回のコメントペーパーの内容により総合的に判断する。「不定期課題」は、授業時間外の宿題として、ごく簡単なレポート課題を不定期に与え、提出状況と提出内容により評価する。「期末レポート」は、期末試験の代替として課し（提出期限の2週間前までに課題を提示する）、提出内容により評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書：特に指定せず、毎回講義時に資料を配布する。 **□参考文献**：講義中に適時教示する。